

# 第62回 中部支部会員総会 報告書

2025年6月24日（火）

ホテルメルパルク名古屋

公益社団法人 日本包装技術協会 中部支部

# 2024年度 公益社団法人日本包装技術協会 中部支部 事業報告

## 第 1 諸 会 議

- 1) 第61回 役員会  
2024年5月29日(水) 名古屋マリオットアソシアホテル
- 2) 第61回 中部支部会員総会  
2024年6月25日(火) ホテルメルパルク名古屋
- 3) 第1回 運営委員会  
2024年9月20日(金) 名鉄グランドホテル
- 4) 2025年度 研究例会講演テーマ作業部会  
2025年3月7日(金) 名鉄グランドホテル
- 5) 第2回 運営委員会  
2025年3月7日(金) 名鉄グランドホテル

## 第 2 事 業

### 1. 研究会活動

#### 1) 研究例会

- (1) 11月6日(水) JPI WEB フォーラム 【参加者：157名】  
【日時】 2024年11月6日(水) 13:30~15:00  
【会場】 「Zoom ウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式  
【内容】 『プラスチックゴミ ゼロへの挑戦(ゼロ・エミッション)』  
【講師】 グンゼ㈱ プラスチックカンパニー グローバル営業部 営業企画課  
課長 前原 志保 氏
- (2) 12月4日(水) JPI WEB フォーラム 【参加者：92名】  
【日時】 2024年12月4日(水) 13:30~15:00  
【会場】 「Zoom ウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式  
【内容】 『被災者の命を守る段ボールベッドのその後』  
【講師】 Jパックス㈱ 代表取締役社長 水谷 嘉浩 氏
- (3) 1月28日(火) JPI WEB フォーラム 【参加者：71名】  
【日時】 2025年1月28日(火) 13:30~15:00  
【会場】 「Zoom ウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式  
【内容】 『プチプチ®を活用した災害支援』  
【講師】 川上産業㈱ 事業管理部 小森 智 氏
- (4) 2024日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会 【参加者：52名】  
【日時】 2024年12月12日(木) 14:00~16:00  
【会場】 対面(会場：ウインクあいち) 聴講+ウェビナー聴講(Zoom)  
【内容】 ~2024日本パッケージングコンテスト入賞作品の包装の工夫やアイデアを知る~  
① 『バイカルテ 業務共通ホルダー』  
講 師：ホーユー株式会社 総合研究所 製品開発第2 研究室  
製品開発P4 課 末田 朋与 氏

② 『剪定木のアップサイクルによるパルプモールド製トイカプセル』

講 師：ダイナパック株式会社 開発本部 中部CSC 平野 利一 氏

③ 『次世代容器包装「ecoフレンドリー」プロジェクトと

『パパッとパピエコBOX』の開発』

講 師：サッポロビール株式会社 技術開発部 (包装専士) 横石 智彦 氏

④ 『設計理論と落下解析を活用したパルプモールド緩衝材と製品への展開』

講 師：ブラザー工業株式会社 LE 開発部 名坂 成昭 氏

【コメンテーター】

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室

主任研究員 村松 圭介 氏

(5) 包装技術講習会 【参加者：95名】

【日時】 2025年3月12日(水) 13:30~16:30

【会場】 対面(会場：ウインクあいち) 聴講+ウェビナー聴講 (Zoom)

【内容】

① 『パルプモールド成形の工程と特性および環境への対応と展開事例について』

講 師：日本モールド工業(株) 営業開発課 課長 清水 幸浩 氏

② 『EU 包装・包装廃棄物規則 (PPWR) の概要と将来像』

講 師：包装公益社団法人日本包装技術協会 包装技術研究所 井出 安彦 氏

【コーディネーター】

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室長 森川 豊 氏

2) 講演会

第61回中部支部会員総会記念講演会 【参加者：52名】

【日時】 2024年6月25日(火) 14:20~15:00

【会場】 ホテルメルパルク名古屋(名古屋市東区葵3-16-16) 3階「シリウス」

【内容】 『企業における防災と災害支援の在り方』

【講師】 認定特定非営利活動法人愛知ネット 理事 鈴木 盈宏 氏

3) 見学会 ※調整不調により開催見送り

4) 第64回包装技術研究大会中部大会 【参加者：54名】

【日時】 2025年2月19日(水) 13:00~16:30

【会場】 対面(会場：ウインクあいち) 聴講+ウェビナー聴講 (Zoom)

【内容】

① 『新たな固定方法で資材削減に挑戦！

「カーエアコンコンプレッサー用の軽量で汎用性の高い内材」の開発』

講 師：(株)デンソーロジテム 物流サービス本部 包装管理室 直納包装課

(第59期包装管理士) 古藤 宏則 氏

② 『食パン用フィルムの製袋品カール低減』

講 師：フタムラ化学(株) フィルム営業本部 フィルム営業部 名古屋グループ

(第59期包装管理士) 渡邊 隼人 氏

③ 『アメリカ市場における樹脂窓完成品の包装改善』

講 師：(株) YKK AP 生産技術部 住宅技術グループ 窓生産技術室

(第 59 期包装管理士) 鶴間 剛士 氏

④ 『納豆 PSP トレーの蓋の開けやすさの改善』

講 師：(株) Mizkan 品質環境部品質保証課

(第 59 期包装管理士) 篠田 太郎 氏

⑤ 『トナーカートリッジ外装箱の工程削減提案』

講 師：ダイナパック(株) みよし事業所 営業部 営業第一課

(第 59 期包装管理士) 河合 宏哉 氏

⑥ 【特別講演】『ドイツ・スペイン・タイの包装展示会と市場の比較』

講 師：公益社団法人日本包装技術協会 包装技術研究所 金子 武弘 氏

5) 包装研究懇話会 ※調整不調により開催見送り

## 2. 研修活動

### 1) 2024年度包装設計の基礎講座 【参加者：33名】

【日時】 2024 年 5 月 16 日 (木) ~17 日 (金)

【会場】 愛知県技術開発交流センター 交流会議室・研修室

【内容】

(第 1 日目)

〈包装の役割と包装設計の考え方〉

- ・包装の社会的役割
- ・適性包装に向けて包装設計の考え方

三菱電機ロジスティクス株式会社 物流技術部 主管 (包装管理士) 星野 弘行 氏

〈段ボール箱の基礎と応用〉

- ・段ボールの構造と原紙種類
- ・段ボール箱の規格と製造工程
- ・箱の圧縮強さの評価

ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 部長 (包装管理士) 早川 貴司 氏

〈段ボール箱の設計〉

- ・段ボール箱の設計手順
- ・段ボール箱の設計要因と劣化要因
- ・箱圧縮強さの算出法

ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 部長 (包装管理士) 早川 貴司 氏

〈段ボール箱の製作〉

- ・段ボール箱の製作

ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 部長 (包装管理士) 早川 貴司 氏

〈機能性プラスチック包装材料〉

- ・機能性プラスチック包装材料の種類と使用の実例
- ・包装材料を取り巻く世界の法規制

株式会社アイセロ 商品開発本部 開発 2 部 次長 溝端 一幸 氏

(第 2 日目)

〈緩衝包装設計〉

- ・緩衝包装の目的
- ・緩衝材の種類
- ・緩衝性能と緩衝設計技法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 飯田 恭平 氏

〈包装試験の目的と試験法〉

- ・包装試験、包装材料試験の目的と試験法および評価法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 村松 圭介 氏  
〈包装試験施設の見学〉

包装試験関連施設（衝撃・落下・振動試験、包装材料試験、箱圧縮試験など）の見学

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 林 直宏 氏 他  
〈トータルコスト削減に向けた集合包装〉

- ・ トータルコスト削減に向けた集合包装

三菱電機株式会社 住環境研究開発センター

設計・品質技術開発部 設計技術開発グループ 新井 達也 氏

〈包装改善とロジスティクス〉

- ・ ロジスティクスの中での包装の役割 ・ 輸送形態の特性とそれに適応した包装改善

株式会社デンソーロジテム 物流サービス本部 包装管理室

室長（包装管理士）佐藤 嘉和 氏

## 2) 第59期包装管理士講座

（名古屋会場合格者：54名／輸送包装コース：35名、生活者包装コース：19名）

〈集合研修〉1日間（コース別／対面） ロワジールホテル豊橋

○生活者：6月6日（木）開講

○輸送：6月5日（水）開講

〈統括教科〉1日間／5教科 ※オンライン

○全受講者：6月12日（水）開講

〈材料教科〉3日間／6教科 ※オンライン

○全受講者：6月18日（火）～20日（木）開講

〈専門教科〉4日間／8教科（コース別） ※オンライン

○輸送：7月2日（火）～7月5日（金）開講

○生活者：7月9日（火）～7月12日（金）開講

〈合宿研修〉2泊3日（コース別／対面） ロワジールホテル豊橋

○生活者：9月4日（水）～9月6日（金）開講

○輸送：9月9日（月）～9月11日（水）開講

〈包装管理士試験〉1日間

○全受講者：8月26日（月）実施

- ・ 第59期包装管理士合格証書授与式・交流会 【参加者：44名】

【日時】 2024年11月8日（金）

【会場】 サイプレスホテル名古屋駅前（名古屋市中村区） 2階「扇の間」・「葵の間」

## 3) 第15回食品包装コース 【参加者：30名】

※「Zoom ウェビナー」を利用したオンライン配信で実施

【第1回】2025年2月5日（水） 「食品包装の役割」

【第2回】2025年2月12日（水） 「食品包装用の包装材料」

【第3回】2025年2月20日（木） 「食品の変質防止と包装」

【第4回】2025年2月27日（木） 「食品包装の安全性、環境問題と今後」

講師：加藤包装技術事務所 所長 加藤 武男 氏

トッパン・ヒューマン・インフォメーション・サービス株式会社 坂巻 千尋 氏

## 4) 第41回フレキシブルパッケージコース 【参加者：44名】

【日時】 2025年2月14日（金）10:00～17:00

【会場】 JPI本部 A会議室

【内容（プログラム）】

1. フレキシブルパッケージ（軟包装）とは
2. フレキシブルパッケージ用原材料について
3. フレキシブルパッケージの衛生性
4. フレキシブルパッケージの製造
5. フレキシブルパッケージの設計
6. フレキシブルパッケージを取り巻く話題

講師：下山田包装技術事務所 所長 下山田 正博 氏

### 3. 会員交流活動

- 1) 第61回 中部支部会員総会 会員交流会 【参加者：52名】  
【日時】 2024年6月25日（木） 16：00～17：30  
【会場】 ホテルメルパルク名古屋（名古屋市東区） 3階「若葉」
- 2) 2025年中部包装界新年賀詞交歓会 【参加者：96名】  
【日時】 2025年1月16日（木） 15：00～17：00  
【会場】 名古屋マリオットアソシアホテル（名古屋市中村区） 17階「コスモス」

### 4. その他関連事業

- 1) 2024東京国際包装展（TOKYO PACK）  
開 催 日：2024年10月23日（水）～25日（金）  
開催場所：東京ビッグサイト 東ホール  
内 容：来場登録者数 70,712 名／入場者数合計 221,301 名
- 2) 第62回全日本包装技術研究大会富山大会  
開 催 日：2024年11月21日（木）～22日（金）  
開催場所：富山国際会議場  
内 容：発表5部会／60件 参加者354名

### 第 3 組 組 織

会員動勢（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）は、次の通りです。

#### 1. 法人会員

2024 年度期首	2024 年度		
984 社	入 会 数 36 社	退 会 数 41 社	現 在 数 979 社

#### 2. 個人会員

2024 年度期首	2024 年度		
136 名	入 会 数 18 名	退 会 数 30 名	現 在 数 124 名

#### <会 員 登 録 動 勢 一 覧>

		2024 年 4 月 1 日	本 年 度		2024 年度 合 計(3 月末)
			入会	退会	
会 員 総 数		1120	54	71	1103
法 人		984 社	36 社	41 社	979 社
( 口 数 )		(1010)	(36)	(41)	(1005)
個 人		136 名	18 名	30 名	124 名
登 録 員 数	法人	984 社 2596 名	36 社 80 名	41 社 95 名	979 社 2581 名
	個人	136 名	18 名	30 名	124 名
	合計	2732 名	98 名	125 名	2705 名
本 部 ( 東 京 )	法人	1502 名	56 名	35 名	1523 名
	個人	68 名	10 名	15 名	63 名
関 西 支 部	法人	565 名	13 名	39 名	539 名
	個人	32 名	6 名	8 名	30 名
中 部 支 部	法人	346 名	8 名	10 名	344 名
	個人	19 名	1 名	2 名	18 名
西 日 本 支 部	法人	94 名	2 名	6 名	90 名
	個人	6 名	1 名	3 名	4 名
北 海 道 支 部	法人	45 名	0 名	2 名	43 名
	個人	1 名	0 名	0 名	1 名
東 北 支 部	法人	44 名	1 名	3 名	42 名
	個人	10 名	0 名	2 名	8 名

## 2024年度 中部支部事業別実施状況報告

2024年4月1日～2025年3月31日

※支部直接経費のみ抜粋

### ＜収入の部＞

単位：円(税込)

科 目	事 業 名	予算(A)	実施(B)	差異(A-B)
研修事業	(包装管理士講座)			
	包装設計の基礎講座	1,267,200	1,317,800	▲50,600
	研究例会	27,500	0	27,500
	包装技術研究大会 中部大会	11,000	0	11,000
	包装研究懇話会	0	0	0
				0
	(全日本包装技術研究大会)			
交流事業	見学会	165,000	0	165,000
行 事	賀詞交歓会	220,000	297,000	▲77,000
受取利息	受取利息		994	▲994
合 計		1,690,700	1,615,794	74,906

### ＜支出の部＞

単位：円(税込)

科 目	事 業 名	予算(A)	実施(B)	差異(A-B)
研修事業	(包装管理士講座)			
	包装設計の基礎講座	685,000	511,402	173,598
	研究例会	672,000	457,360	214,640
	包装技術研究大会 中部大会	360,000	92,100	267,900
	包装研究懇話会	61,000	0	61,000
	(全日本包装技術研究大会)			
交流事業	見学会	282,000	0	282,000
行 事	賀詞交歓会	1,670,000	1,262,070	407,930
合 計		3,730,000	2,322,932	1,407,068

※「包装管理士講座」・「全日本包装技術研究大会」・「食品包装コース」・「フレキシブルパッケージコース」は、本部事業につき上記研修事業内に含まれておりません。

※上記事業報告は、6月13日（金）開催の本部総会資料の一部抜粋です。したがって、支部の運営予算を示したものではありません。

※上記科目を含めた年会費・運営費等の間接配賦は本部で一括管理しております。



## 2025 年度 公益社団法人日本包装技術協会 中部支部 事業計画

### 第 1 諸 会 議

- 1) 第62回 中部支部役員会 5月28日(水) 名古屋マリオットアソシアホテル
- 2) 第62回 中部支部会員総会 6月24日(火) ホテルメルパルク名古屋
- 3) 2025年度 第1回運営委員会 9月12日(金) 名鉄グランドホテル  
2025年度 第2回運営委員会 3月13日(金) 名鉄グランドホテル
- 4) 次年度研究例会等講演テーマ検討作業部会 開催日未定

### 第 2 事 業

#### 1) 研究会活動

##### (1)研究例会

- ①JPI WEB フォーラム (JPI 全支部共同ウェビナー) ※Zoom ウェビナーで実施予定
- ②包装技術講習会  
11月12日(水) ※対面(ウインクあいち)+ウェビナー(Zoom)
- ③2025日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会  
12月11日(木) ※対面(ウインクあいち)+ウェビナー(Zoom)

##### (2)会員総会記念講演会

6月24日(火) メルパルク名古屋

##### (3)見学会 9~11月予定

##### (4)第65回包装技術研究大会中部大会

2026年2月18日(水) ※対面(ウインクあいち)+ウェビナー(Zoom)

##### (5)包装研究懇話会 2026年3月上旬予定

#### 2) 研修活動

##### (1)2025年度包装設計の基礎講座

5月15、16日(木、金) 愛知県技術開発交流センター

##### (2)第60期包装管理士講座

6月~8月 統括/材料/専門の各教科・包装管理士試験 オンライン(一部対面)

6月・9月 集合・合宿研修 ロワジールホテル豊橋

##### (3)第60期包装管理士合格証書授与式・交流会

11月7日(金) サイプレスホテル名古屋駅前

##### (4)第16回食品包装コース ※Zoom ウェビナーで実施予定

2026年2月(予定)

##### (5)第42回フレキシブルパッケージコース JPI 本部 A 会議室

2025年秋(予定)

#### 3) 交流活動

##### (1)第62回 会員総会・交流会

6月24日(火) メルパルク名古屋

##### (2)2026年中部包装界新年賀詞交歓会

2026年1月22日(木) 名古屋マリオットアソシアホテル

#### 4) その他

##### (1)第63回全日本包装技術研究大会仙台大会

12月18、19日(木、金) 仙台国際センター

##### (2)暮らしの包装商品展

10月3、4日(金、土) 越谷レイクタウン

## 2025年度 中部支部事業別実施計画

2025年4月1日～2026年3月31日

※支部直接経費のみ抜粋

### ＜収入の部＞

単位：円(税込)

科 目	事 業 名	2025年度概算 (A)	2024年度予算 (B)	増減(A-B)
研修事業	(包装管理士講座)			
	包装設計の基礎講座	1,267,200	1,267,200	0
	研究例会	27,500	27,500	0
	包装技術研究大会 中部大会	6,600	11,000	▲4,400
	包装研究懇話会	0	0	0
				0
	(全日本包装技術研究大会)			
交流事業	見学会	165,000	165,000	0
行 事	新年会	220,000	220,000	0
受取利息	受取利息			0
合 計		1,686,300	1,690,700	▲4,400

### ＜支出の部＞

科 目	事 業 名	2025年度概算 (A)	2024年度予算 (B)	増減(A-B)
研修事業	(包装管理士講座)			
	包装設計の基礎講座	645,000	685,000	▲40,000
	研究例会	672,000	672,000	0
	包装技術研究大会 中部大会	360,000	360,000	0
	包装研究懇話会	61,000	61,000	0
	(全日本包装技術研究大会)			
交流事業	見学会	282,000	282,000	0
行 事	新年会	1,630,000	1,670,000	▲40,000
合 計		3,650,000	3,730,000	▲80,000

※「包装管理士講座」・「全日本包装技術研究大会」・「食品包装コース」・「フレキシブルパッケージコース」は、本部事業につき上記研修事業内に含まれておりません。

※上記事業計画は、6月13日（金）開催の本部総会資料の一部抜粋です。したがって、支部の運営予算を示したものではありません。

※上記科目を含めた年会費・運営費等の間接配賦は本部で一括管理しております。

## 2025年度中部支部役員

(敬称略／氏名50音順) (○印：新役員)

支 部 長	山口 淳	名港海運(株)	常務執行役員
副支部長	○中尾 俊章	あいち産業科学技術総合センター	産業技術センター長
役 員	青木 大篤	ダイナパック(株)	取締役執行役員 企画本部長
	伊藤 公一	フタムラ化学(株)	常務取締役 PF生産物流本部長
	○大辻 雄介	ナビエース(株)	代表取締役社長
	倉知 真治	(株)チューゲン	代表取締役社長
	小林 俊幸	ホーユー(株)	生産・物流本部 品質保証部長
	佐藤 嘉和	(株)デンソーロジテム	物流サービス本部 包装管理室長
	杉山 昌樹	笹徳印刷(株)	代表取締役社長
	伊達 賢治	明治チューインガム(株)	代表取締役社長
	谷村 圭介	日本通運(株)	名古屋支店 次長(業務)
	○寺田 知史	京セラ(株)	経営管理本部経営管理部 副部長
	戸田紳一郎	東海漬物(株)	取締役常務執行役員 漬物機能研究所長
	鳥居 晃好	名港海運(株)	営業第3部長
	西 祐二	(株)M i z k a n	日本・アジア事業 仕入統括部長
	彦坂 謙二	(一財)中部生産性本部	専務理事
	見田 昌靖	見田工作(株)	代表取締役社長
	宮田 敏弘	(株)フジキカイ	取締役 営業本部長
	盛田 智	(株)アイセロ	代表取締役社長
	山本 貞巳	レンゴー(株)	理事 中部事業部長
監 事	神谷 修	刈谷紙器(株)	代表取締役会長
	吉田 将之	浅野段ボール(株)	代表取締役社長
顧 問	福田 博昭	京セラ(株)	経営管理本部経営管理部 業務品質推進部 責任者

## 2025年度 中部支部 運営委員

(敬称略50音順) (○印：新運営委員)

運営委員長	福留 成人	京セラ(株)	物流部物流技術課 課責任者
副委員長	鳥居 晃好	名港海運(株)	営業第3部長
委員	井上 知木	見田工作(株)	常務取締役
	大熊 強志	(株)Mizkan	仕入統括部調達2課 主任
	大山 孝一	ナビエース(株)	取締役 営業本部長
	岡田 俊紀	(株)アテック・ホーレション	常務取締役
	岡部 智	(株)オカベカミコン	代表取締役社長
	神谷 強	刈谷紙器(株)	代表取締役社長
	北原 圭介	笹徳印刷(株)	クリエイティブ企画本部 PCCグループ マネージャー
	小林 隆人	(株)デンソーロジテム	機能本部経営企画室地域分室課 リーダー
	後藤 征樹	(株)チューゲン	常務取締役
	柴田 幸樹	ヤマハ発動機(株)	生産本部製造技術統括部組立技術部 物流技術グループ リーダー
	鈴木 康二	浅野段ボール(株)	営業部 開発課長
	長野 雄平	東海漬物(株)	漬物機能研究所 商品開発課長
	丹羽 喜一	ホーユー(株)	品質保証部品質保証2課 参事
	花市 岳	フタムラ化学(株)	中部統括 開発グループリーダー
	松田 裕行	(株)アイセロ	執行役員 R&D 本部兼商品開発本部長
	丸山 浩司	ダイナパック(株)	開発本部長
○杉村 知則		リスパック(株)	開発本部押出技術開発部 部長
森川 豊		あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室長	

# 公益社団法人日本包装技術協会

## 中部支部規則

（名称および事務局）

第1条 本会は公益社団法人日本包装技術協会・中部支部と称し、事務局を愛知県内に置く。

（目的）

第2条 本規則は、公益社団法人日本包装技術協会の支部運営規則に基づき、本会の活動および運営を円滑に遂行するために定める。

第3条 本会は包装技術等の向上改善を通じて生産、流通および消費の合理化を図り、もって地域諸企業および地域経済の発展に寄与することを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 調査、研究
2. 研究会、講演会および見学会の開催
3. 研修、教育
4. 技術の指導および相談
5. 資料の蒐集整理および配布
6. 国内関係機関との連絡提携
7. その他本会の目的を達成するために必要な事業

（会員）

第5条 本会は公益社団法人日本包装技術協会の会員のうち主として中部地区に在住する者をもって組織する。ただし、他地区在住会員の当支部所属および当地区在住会員の他支部所属はこれをさまたげない。

2. 会員は次の2種とする。

(1)正会員

本会の目的に賛同し、入会金および会費を納めた法人または個人

(2)特別会員

学識経験者で役員会において承認されたもの

（役員および任期）

第6条 本会に次の役員を置くことができる。

- (1)支部長 1名
- (2)副支部長 若干名
- (3)役員 若干名
- (4)監事 若干名

2. 支部長は本会を代表し、会務を総理する。又、総会および役員会を召集しその議長となる。

副支部長は支部長を補佐し、支部長に事故あるときはこれを代理する。

役員は役員会を通じて本会の重要会務を審議する。

監事は本会の業務および会計を監査する。

第7条 役員は総会において選出し、その任期は2年とする。ただし、再任をさまたげない。

2. 任期中において補充された役員の任期は残任期間とする。

3. 役員は任期が満了しても後任者が就任するまでは、その職務をおこなうものとする。

（運営委員会）

第8条 本会に運営委員会を置き、さらに業務の運営に必要なときは特別委員会を置くことができる。

2. 委員は業務の企画および運営の具体的方法その他を審議し、その推進にあたる。

3. 委員長および委員は会員の中より、支部長が委嘱する。

（総会）

第9条 総会は年1回以上開催し、規約の改正その他重要事項を議決する。

第10条 総会の議決は出席者の過半数によって決する。

可否同数の場合は議長の決するところによる。

（事業年度）

第11条 本会の事業年度は毎年4月1日にはじまり、翌年3月31日に終わる。

（その他）

第12条 本規則に特に定めない事項については、公益社団法人日本包装技術協会の定款および支部運営規則を準用する。

附 則

この規則は本会発足の昭和39年9月9日から実施する。

昭和39年9月9日制定

昭和56年5月29日改正

平成8年8月1日改正

平成22年10月12日改正

平成23年11月1日改正

平成24年5月17日改正